

2005年度 Block. 5

課題 No. 5

「だるさを感じる石本さん」



この冊子は、『だるさを感じる石本さん』の資料として作成されたもので、『だるさを感じる石本さん』の著作権は、『だるさを感じる石本さん』の著者である石本さんにあります。

2005-B5-5

だるさを感じる石本さん

シート1

石本良江さんは医学部5年生です。3ヶ月前より全身のだるさを感じるようになりました。ポリクリで疲れているのかなと思っていましたが、最近では膝や肘のあたりがうずくことや、なんとなく体が熱っぽく感じるが多くなりました。ちょうど今、回っている整形外科の先生に話したところ、検査をしてみようと言われました。

【抽出を期待する事項】

全身倦怠感

関節痛

発熱

検査として必要なものを考える(検査データを要求できる)。

肘・膝関節のX線

一般採血(血算、生化学や血沈、CRPなどの炎症反応など)

2005-B5-5

だるさを感じる石本さん

シート2

経過をみていたところ今までの症状は自然によくなりました。

夏休みに入り、石本さんは友達と海にいった後に、顔に赤い斑点があることに気づきました。ややぴりぴりした痛みと若干の痒みもありました。石本さんは古い日焼け止めを使ったことを思い出し、それでアレルギーを起こしたのかしらと思いましたが、この赤い斑点がいったい何なのか見当もつかず、図書館で調べることにしました。

【抽出を期待する事項】

皮疹

痛み

痒み

アレルギー

情報収集の仕方（アトラスの活用）

シート3

皮膚科を受診したところ、初診の先生が顔の赤い斑点をみて、肘、膝、手や頭皮など他の部位も診察し、「爪の周りが赤いね。毛が抜けやすくない？」と言ったのを聞いて、顔と何か関係あるのかしらと疑問に思いました。また、体のだるさや熱はないかということや、顔の赤みは日光で悪くなったことはないかということを知られ、そういえば3ヶ月前からだるさや、関節痛、微熱があつて一旦よくなったのだけど、最近また症状がでていることを話しました。顔の赤みも海に行った後にでてきたことを思い出しました。その後、入院して皮膚生検を含め検査を受けた方がよいといわれたので驚きました。

担当医は佐藤先生になりました。初診医は佐藤先生に石本さんの今後の検査方針を立てておくように指示しました。

【抽出を期待する事項】

皮疹

日光暴露による増悪（日光過敏）

爪囲紅斑、脱毛、倦怠感、関節痛、発熱を認める全身疾患

全身疾患と皮膚

膠原病の皮膚症状

インフォームドコンセント（皮膚生検など）

病理組織所見（正常組織、蛍光抗体直接法を含め）

担当医のつもりで今後の方針を考える（検査データを要求できる）。

データから白血球減少、免疫異常、腎機能、胸部 X 線(胸水貯留)などの所見を読む。

2005-B5-5

だるさを感じる石本さん

シート4

石本さんは担当医から膠原病を疑っていることを告げられました。講義もありましたが、インターネットでも調べてみたところ、腎臓や心臓などの内臓病変を合併し、なかには腎不全になっている患者さんもいることを知り、気持ちが沈んでしまいました。また、これから両親に負担のかかる医療費も心配になりました。

内科も受診し、最終的に全身性エリテマトーデスと診断され、担当医から疾患および今後の治療についての十分な説明を受けた後、プレドニゾロン 30mg/日(体重46 kg)の内服が開始されました。

【抽出を期待する事項】

情報収集の仕方(インターネットの活用)

患者の心のケア

全身性エリテマトーデス(SLE)・

インフォームドコンセント(治療前の)

ステロイドの副作用

特定疾患医療費助成制度

2005-B5-5

だるさを感じる石本さん

シート5

その後担当医から繰り返し説明を受け、まわりのサポートもあり、今は治療に専念しています。

経過は順調ですが、退院後、大学の授業にすぐ出席できるのか不安に思うことが時々あります。

【抽出を期待する事項】

患者の心のケア

患者の社会復帰